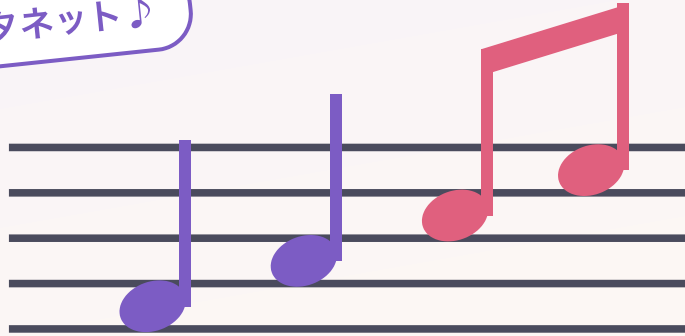


カステネット ♪



トライアングル ♪

身近な楽器にふれる

たたく、ふく、はじく、こする。楽器にさわろう



この教材の使い方

1

声と体で感じる

音楽は、歌ったり手をたたいたりするほど身につきます。気になったところは、何度でも声に出してみましょう。

2

本物の音を聴く

この教材に出てくる曲や楽器は、音源や動画でも聴いてみましょう。耳で知ると、理解がぐっと深まります。

3

「やってみよう」は手と体で

答えは30ページにあります。正解がひとつではない問題もあります。自分の感じ方を大切にしましょう。



Ken (ケン)

音楽が好きな中学生。ギターを始めたばかり。



Emma (エマ)

カナダから来た留学生。ピアノが得意。

もくじ

楽器ってなに	3
音の出し方で分ける	4～7
身近にある楽器	8～9
打楽器にふれる	10～12
音板と息の楽器	13～15
楽器と仲良く	16～19
練習しよう	20～24
ふり返り	25～30

楽器は、音を鳴らすための道具です。

たたく、ふく、はじく、こするなど、鳴らし方によってさまざまな種類があります。



トライアングル

学校や家には、意外とたくさんの楽器があります。

1. 家や学校にある楽器を、思い出せるだけ書いてみよう。

弦をはじいて鳴らす楽器があります。

弦（げん）を使って音を出す楽器

弦を指やつめで引っかけて鳴らすこと

- ギターや琴（こと）は、弦を指ではじいて音を鳴らします。
- 弦の太さや長さによって、出る音の高さが変わります。

1. 輪ゴムを1本張って、指ではじいてみよう。どんな音がした？

弦をこすって鳴らす楽器もあります。

- バイオリンやチェロは、弓（ゆみ）で弦をこすって音を出します。
- こすり方の速さや強さで、音の表情が変わります。
- 同じ弦楽器でも、はじくものところするものがあります。

1. バイオリンとギター、どちらも弦楽器ですが、鳴らし方のちがいを書こう。

鍵盤をおして鳴らす楽器もあります。

鍵盤をおして音を出す楽器

鍵盤の中のハンマーが弦をたたいて鳴る楽器

- ピアノは、鍵盤をおすと中のハンマーが弦をたたいて音が出ます。
- 鍵盤ハーモニカも、鍵盤と息を組み合わせた楽器です。

1. 鍵盤楽器を1つ思いうかべ、名前を書こう。

学校にある楽器

学校には、たくさんの楽器があります。

音楽室のピアノ

多くの授業で使われる鍵盤楽器

リコーダー

多くの人が最初にふく管楽器

鍵盤ハーモニカ

鍵盤とふく息を組み合わせた楽器

木琴・鉄琴

音板をたたく打楽器

カスタネット

木や樹脂でできた打楽器

大だいこ・小だいこ

合奏でリズムを支える楽器

ポイント

- 学校にある楽器は、多くの人が最初にふれる楽器でもあります。
- 音楽室に行く機会があれば、いろいろな楽器を見てみましょう。

やってみよう

1. 学校で見たことのある楽器を、3つ書こう。

書いて覚えよう

家の中にも、楽器や楽器がわりの物があります。

たたくと打楽器がわりになる

口をふくと音が鳴る

たたくとリズム楽器になる

中に物を入れるとマラカスに

はじくと弦楽器のような音

小さな鍵盤や太鼓など

- 専用の楽器がなくても、身近な物でリズムや音を楽しめます。
- 音の出し方に注目すると、身近な物も楽器のように扱えます。

1. 家にある物で、楽器がわりになりそうな物を1つ見つけて鳴らしてみよう。

パチンと鳴る、身近な打楽器です。

castanets

2枚の板を打ち合わせて鳴らす打楽器

- 手のひらにのせて、指でパチンとたたいて鳴らします。
- 小さくても、はっきりした音が出るのが特徴です。

1. カスタネット（なければ手のひら2枚）で、「タン・タン・タン・タン」とたたいてみよう。

タンバリン

tambourine

小さな金属の輪がついた、枠にはった打楽器

ポイント

- たたいても、ふっても音が鳴る、めずらしい楽器です。
- まわりについた金属の輪が、シャンシャンという音を出します。

やってみよう

1. タンバリン（なければ鈴やペットボトル）を、ふって音を鳴らしてみよう。

書いて覚えよう

トライアングル・すず

金属でできた、澄んだ音の楽器です。

トライアングル

三角形の金属

棒でたたいて鳴らす

ロングトーン

音が長くのびて響く

すず (ベル)

小さな金属の玉

ふって音を鳴らす

やさしい響き

軽やかで明るい音色

ポイント

- トライアングルは、たたく場所によって音の響き方が変わります。
- すずは、シャンシャンとやわらかく鳴る、身近な打楽器です。

やってみよう

1. トライアングルやすす（なければ似た金属の物）を鳴らして、響きを聴いてみよう。

書いて覚えよう

木琴と鉄琴

音板をたたいて、メロディを奏でる楽器です。

木琴（もっきん）

木の音板

あたたかい音色

やわらかく響く

低めの音が多い

落ち着いた印象

鉄琴（てっきん）

金属の音板

きらきらした音色

明るく響く

高めの音が多い

澄んだ印象

ポイント

- 木琴と鉄琴は、どちらもばちでたたいて音を出す楽器です。
- 板の材料がちがうだけで、音色は大きく変わります。

やってみよう

1. 木琴と鉄琴、どちらの音色が好きか考えてみよう。 _____

書いて覚えよう

息をふきこんで鳴らす、身近な管楽器です。

- リコーダーは、上から息をふきこみ、指で穴をおさえて音の高さを変えます。
- 強くふきすぎると、音がかすれてしまうことがあります。

やってみよう

1. リコーダーがあれば、やさしく息をふきこんで音を出してみよう。

ワンポイント 使い終わったら、ぬれたところをふいて、清潔に保ちましょう。

書いて覚えよう

鍵盤ハーモニカにさわってみる

鍵盤と息を組み合わせた楽器です。

ポイント

- 鍵盤ハーモニカは、鍵盤をおしながら息をふきこんで音を出します。
- ピアノと同じ鍵盤の並びなので、ドレミの位置も覚えやすい楽器です。

やってみよう

1. 鍵盤ハーモニカがあれば、ドの位置をおしながら、やさしく息をふいてみよう。

書いて覚えよう

楽器は、大切にあげましょう。

17

好きな楽器をえらぶ

自分の「好きな楽器」を見つけよう。

やってみよう

1. この教材で紹介した楽器の中から、いちばん気になる楽器を1つえらぼう。

2. その楽器の、どんなところが気に入りましたか。

ポイント

- 好きな楽器が見つかったら、音楽への興味がさらに広がります。
- 機会があれば、実際にその楽器にふれてみましょう。

書いて覚えよう

カスタネットやタンバリンなど、身近な打楽器でたたいてみましょう。

1. 好きな歌に合わせて、身近な打楽器で伴奏をつけてみよう。

19

20

実際にやってみよう・ペアやグループで練習しよう

1人でも、みんなでも楽器を楽しもう。

A (カステネットで) タン・タン

B (まねして) タン・タン

A (別の楽器で) _____

B (まねして) _____

A (自由に) _____

B (まねして) _____

ポイント

- A がたたいたリズムを、B が同じ楽器（または手拍子）でまねする練習です。
- ちがう楽器を交代して使うと、より多くの音色にふれられます。

ワンポイント 楽器の貸し借りをするときは、ていねいにあつかいましょう。

書いて覚えよう

よくあるつまずき・上達のコツ

つまずきは、上達のサインです。

つまずき

よくあること

楽器の名前を覚えにくい

似た名前で迷う

音がうまく出ない

力の入れ方がわからない

コツ

こうしてみよう

音色とセットで覚える

音と名前を結びつける

やさしい力で試す

強くしすぎない

ポイント

- 楽器の名前は、実際に音を聴きながら覚えると定着しやすくなります。
- うまく音が出なくても、あせらず少しずつ試してみましょう。

やってみよう

1. あなたが楽器でつまずきやすいことは？ _____
2. 上のコツから、1つえらんで試してみよう。

書いて覚えよう

用語をおさらい

この教材で出てきた言葉を確認しよう。

楽器の仲間

☐ 打楽器

たたいて鳴らす楽器

☐ 管楽器

ふいて鳴らす楽器

☐ 弦楽器

弦をはじく・こすって鳴らす楽器

身近な打楽器

☐ カスタネット

パチンと鳴る楽器

☐ タンバリン

シャンシャンと鳴る楽器

☐ トライアングル

キーンと鳴る楽器

音板と鍵盤

☐ 木琴

木の音板をたたく楽器

☐ 鉄琴

金属の音板をたたく楽器

☐ 鍵盤楽器

鍵盤をおして鳴らす楽器

学校の楽器

☐ リコーダー

息でふく管楽器

☐ 鍵盤ハーモニカ

鍵盤と息を使う楽器

☐ 伴奏

歌や曲を支える演奏

ワンポイント 覚えた言葉に✓をつけよう。楽器を知ると、合奏や鑑賞がもっと楽しくなります。

書いて覚えよう

● オ. 弦を使って鳴らす楽器

家でできる練習

毎日の中で、楽器や音にふれよう。

朝

身近な物をたたいて音を出す

移動中

聞こえた楽器の音を思い出す

お風呂

コップの水で音の高さを変える

夕方

家にある楽器を1つさわる

夜

好きな楽器の動画や音を聴く

週末

家族に楽器の音色をくらべて聴かせる

ポイント

- 1回5分でも、楽器にふれる時間を続けると興味が深まります。
- 楽器はていねいにあつかい、大切に使いましょう。

書いて覚えよう

発表してみよう・感想を書こう

見つけた楽器の魅力を、人に伝えてみよう。

好きな楽器

仲間（打・管・
弦・鍵盤）

好きなところ

聴いてほしい人

Emma の例

好きな楽器 木琴／仲間 打楽器／好きなところ やわらかい音色／聴いてほしい人 家族

感想を3文で書こう

① 楽器にふれてみて、～と感じました。② とくに、～が印象に残りました。③ 次は、～に挑戦してみたいです。

書いて覚えよう

もっと知りたい人へ・次のステップ

楽器の世界は、まだまだ広がります。

もっと知りたい人へ

楽器店で

実際にいろいろな楽器を見る

動画で

オーケストラの楽器編成を見る

次のステップ

五線

楽譜の中で音の位置を読む

音部記号

ト音記号とヘ音記号を知る

合奏

楽器を合わせて演奏する

ポイント

- この教材の次は「五線と音部記号」。楽譜と楽器のつながりをくわしく学びます。

書いて覚えよう

1. 楽器とは、どんなものですか。 _____
2. いちばん気に入った楽器は？ _____
3. これから挑戦してみたいことは？ _____

できたミッションに✓をつけよう： ☐1 ☐2 ☐3 ☐4

29

身近な楽器にふれるチャレンジ

教室の外でも、楽器はすぐに見つかります。

さがそう

家の中で**楽器がわりの物**を見つける

鳴らそう

見つけた物で**リズム**をつくる

聴こう

知らない楽器の音を1つ調べる

こたえ

L26 打楽器→エ 管楽器→ウ 弦楽器→オ 鍵盤楽器→イ 伴奏→ア
2. 管楽器 / 3. カスタネット

L33 (例) 楽器には、たたく・ふく・はじく・こする・鍵盤の仲間があり、それぞれちがう音色をもつ。

書いて覚えよう

身近な楽器にふれる (Season 1 | No.10)

発行：一般社団法人文化芸術支援協会

この教材の著作権は一般社団法人文化芸術支援協会に帰属します。個人の学習および家庭内での利用に限り、閲覧・保存・印刷ができます。

有料の講座・塾・研修での使用、販売・再配布、改変しての公開、生成AIへの入力などの商用利用は禁止しています。

くわしくは当協会ウェブサイトの「ウェブサイト利用規約」をご覧ください。